

結繫～きずな～

令和7年 7月4日発行
府中町立府中緑ヶ丘中学校
生徒支援部 ☆☆☆

6/20(金)「命の教育講演会」

6月20日(金)に2・3年生を対象にし、今年度の「命の教育講演会」を開催しました。3年生は昨年度河野美代子先生による講話を受けましたが、今年度は府中緑ヶ丘中学校の1期生である佐々木直美助産師を講師とし、「命の授業 性＝生」と題して昨年度とは異なる視点から「命」について考えました。2年生は初めて「命の教育講演会」に参加しましたが、「命」について考えました。本来なら対面で行う方が意図など伝わりやすいですが、気温が急激に高くなったこともありリモートでの開催となってしまったことが心残りです。講師の佐々木先生からできるだけ生徒の質問にも答えていきたいということで、事前にアンケートをとり生徒の悩んでいることにも真摯に答えてくださいました。皆さんの感想をいくつか紹介させていただきます。

【講演会の内容】



府中緑ヶ丘中学校
命の授業 性＝生

くぬぎ助産所
助産師 佐々木直美



誕生日はみんなの記念日



- 誕生日は、皆さんが生まれた記念日でもあり、お父さんやお母さんがあなたの親になった記念日でもあります
- 皆さんが生まれたときのことを、お父さんやお母さん、まわりの大人たちに聞いてみましょう

多様な性

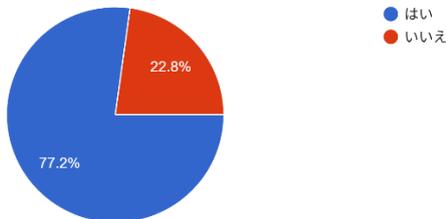
性別は「からだの性」「男性か」「女性か」だけで考えられがち。でも、性のあり方(セクシュアリティ)は、いろいろな視点があります。

※これらに当てはまらない人もいます。

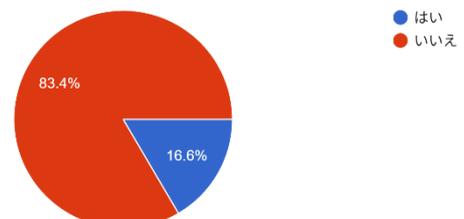
©2024 府中町立府中緑ヶ丘中学校

【事前アンケート】

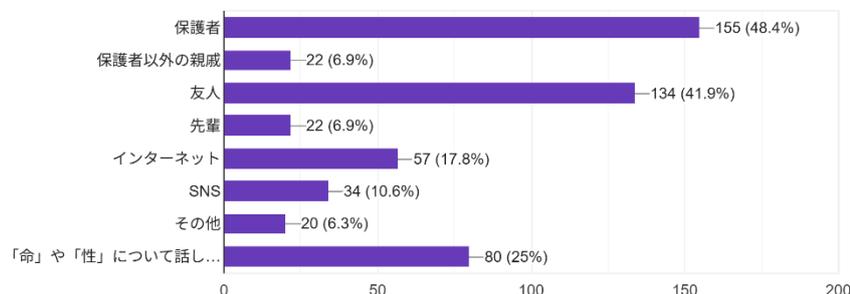
1 自分の名前の由来を知っていますか？
320 件の回答



5 あなたは「命」や「性」について悩むことはありますか？
320 件の回答



6 あなたは学校以外の場で「命」や「性」につ...を得たりしたことがありますか？(複数回答可)
320 件の回答



【生徒の感想】※一部を抜粋しています

○学校の中でも性について多くの人が悩んでいるということを知りました。その悩みが減るようにジェンダー平等について今日学んだことを伝えていきたいと思いました。
○自分の性について悩んでいるもいたけど、それを「個性」としてしっかりと受け止めていくことが必要だし、そういう人に対しても他の人と変わらず接していこうと思った。
○もし性のことや生きることについて友達に相談されたら、それは信頼してくれている証だと思うから、しっかりと寄り添って、その子の話を聴いてあげたいし、否定せずに「うん、うん」と親身になっていけたらと思う。
○性について悩むことは昔あったけど今は自分らしく生きていけばそれでいいと思って生活しています。なのでこれからも自分らしく生きていきたいと思います。
○自分が生まれてくるまでに長時間のじん痛に耐えて、大変な生活に耐えてくれたお母さん、仕事で忙しい中私の誕生を助けてくれたお父さん、佐々木さんのように赤ちゃんが誕生するまでお母さんが少しでも生みやすい環境をつくってくれる助産師さんなどそのほか大勢の人に感謝して生きるようにしたいと思いました。
○自分が無事に生まれてくることができるだけでも奇跡で、さらに周りの人が愛情をこめて育ててくれるということに、感謝を忘れず、人のためにできることを精一杯していきます。7月は私の誕生日なのでその時にも感謝を伝えたいと思います。
○家に帰ったら支えてくれた親や兄弟に「ありがとう」を伝えたいと思います。
○人は親という存在があるからこそ生まれてこれたということ、私たちみたいな人が今までバトンを渡してきたからこそ、今があることを学びました。私たちにとってもっと先の話になるかもしれないけどちゃんと自分の中に刻み込んでいきたいです。

【保護者の皆様へ】

中学生という年代は、思春期と呼ばれる年代です。心も体も少しずつ子どもから大人へと変化していきます。今回のテーマである「命」や「性」については、生徒たちは関心が高まり、様々な不安も抱いてはいると思いますが、保護者などには言いにくい悩みなのかもしれません。危惧しているのは、その「言いにくい悩み」の答えをSNSやインターネットで検索し、間違った情報を入手し、不安を膨らませることです。

周りの大人ができることは、「日ごろからの何気ないコミュニケーション」によって子どもたちの変化を見ていくことと「正しい知識を身につけること」なのかなと思います。特に「性の多様性」については近年社会全体としても取り上げられることが多くなっています。保護者の方々もそのような変化に対応することは大変ですし、どのように声をかけていけばいいのか悩むこともあると思います。そのようなときに、ともに生徒のことを考えていきたいと私たち緑ヶ丘中学校教職員は思っております。保護者の皆様も気軽にご相談ください。学校現場も変化に対応していきたいと思います。ともに、思春期で揺れ動く生徒たちを支えていきましょう。

あいさつペンギンを実施！！

今年度府中緑ヶ丘中学校生徒支援部は「挨拶」に力を入れて取り組んでいます。生徒会執行部も「挨拶プロジェクトチーム」を発足させ、挨拶を広めようと取り組んでいます。今年度は小学校の児童会とも連携をして、挨拶に力を注いでいます。

執行部の取組として6月23日(月)～27日(金)の5日間で実施したのが、「挨拶ペンギンカード」の取組です。昨年度行った「ファーストペンギンカード」の「挨拶バージョン」で、良い挨拶をした人は先生たちからシールをもらうというものです。シールが10枚たまると次のランクのカードがもらえます。挨拶をするきっかけ作りです。

挨拶ペンギンカード

～小中合同で目指す挨拶～

①大きな声 ②相手を見て ③笑顔で

ファーストペンギンとは、えさを取りに行く前に群れ全体のために、勇気を出して先陣を切って海へと飛び込むペンギンのこと。挨拶ペンギンとは挨拶を率先して行うペンギンのこと。

挨拶とは、人間関係づくりの第一歩！「I(自分から)さつ」「相(相手を見て)さつ」「愛(心をこめて)さつ」なり！！誰とでも話しやすい雰囲気を作り出そう！！



～小中合同で目指す挨拶～

①大きな声

②相手を見て

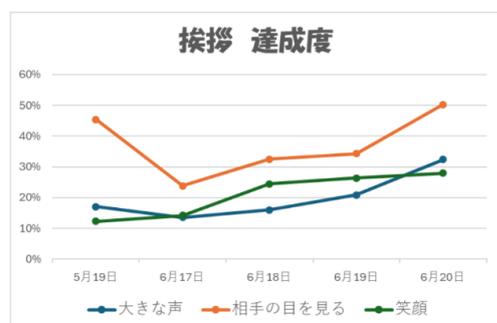
③笑顔で

5月19日(月)に実施した挨拶運動の様子は、右の割合でした。相手を見て挨拶している人でも割合は半分以下。大きな声や笑顔で挨拶している人はさらに少ない20%以下の結果となりました。しかし、この挨拶ペンギンカードに取り組んでいくと…

5月19日に統計

大きな声で	32/187人	17%
相手を見て	85/187人	45%
笑顔で	23/187人	12%

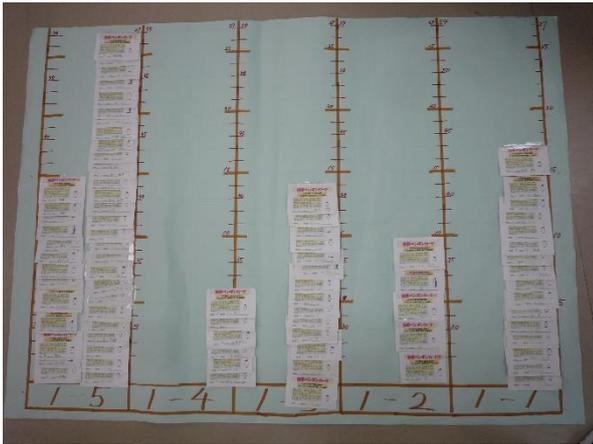
【府中緑ヶ丘中学校の課題について】



少しずつ割合が増えていきました。この取り組みを通して、「挨拶をしてもよい雰囲気」になったのかもしれませんが。皆さんは「挨拶」をされたらもしくは「挨拶」をしたらどのような気持ちになったでしょうか？きっと少し「笑顔」になるひともいたのではないのでしょうか。

来週の水曜日には、クラスと個人の表彰をしていきます。どのクラスが一番挨拶を意欲的にしたのでしょうか。発表を楽しみにしておいてください。

【1年生】



【2年生】



【3年生】



今回は1週間という短い期間での取組なのですが、個人として頑張った人もいればクラスみんなで取り組んだ様子もうかがえます。執行部も今後はさらにグレードアップをさせて、みんなから募った「ペンギン」キャラクターも登場させていくとのことなので、楽しみに待ちましょう！教室や廊下で自然と挨拶が交わせる緑ヶ丘中学校になると安心・安全な生活ができますね。

～帽子の着用のお願い！！～

連日暑い日が続いていますね。この時期に一番心配されるのが「熱中症」です。一人ひとりが熱中症への対策をしっかりとしていきましょう。先日プリントが配布されたように、特に屋外での活動時には、帽子の着用を必ずお願いします。つば付きのキャップ型の帽子を準備してかぶってきてください。特に体育の授業時には必ず着用し、できるだけ登下校時や屋外での部活動の際にも帽子を着用するようにしてください。そのほかにも緑ヶ丘中学校では・・・

- ①スポーツドリンクの持参○
- ②登下校時の日傘の使用を認める
- ③登下校時のネッククーラーの着用を認める
- ④夏休み中は12時～15時半の間は部活動中止



など熱中症対策を行っています。また、反対に教室内の冷房が寒すぎる場合は、長袖のジャージの着用を認めていますので、自分で判断をして持参してください。いずれにしても、きちんと朝食をとることや十分な睡眠をとることなど習慣を整えることが熱中症を防ぐうえで一番大切なことです。多めに水分を持参するなど自己管理もしっかりとしていきましょう！！